

現代文 全コース

学習動画→単元別学習→国語→現代文→現代文読解→基礎コース_内容把握

学習動画→単元別学習→国語→現代文→言語事項→基礎コース 評論読解に必要な知識

② これまで授業で行ってきた評論文読解の着眼点を再確認し、実践に使える力を身につけてください。

②評論文に頻出の語句を着実に自分のものにしてください。

古典 特進コース・文理コース 文系・普通コース 古典選択者

Classi

学習動画→単元別学習→国語→古文→基礎コース_内容把握

学習動画→単元別学習→国語→古文→基礎コース_助動詞その他

①上記の動画を参照し、古文読解・助動詞の復習をしてください。

②春課題でもあった助動詞を完璧にしてください。

③教科書についてはP14『十訓抄』「大江山いくのの道」から始めます。予習をしておいてください。

学年・コース・教科	教科書・問題集	動画
<p>●学習方法、その土台は「教科書・問題集」と心得てください。「動画」はあくまでも補助ツールです。</p> <p>●各科目用のノートを用意してください。</p> <p>●下記の範囲について、教科書は「例題」「応用例題」を、問題集は「*印問題」をノートに解いてください。</p> <p>●「*印問題」は大問全体に付いている場合と小問だけに付いている場合があります、分かりにくいので、先にマーカー等でチェックすることをお勧めします。</p> <p>●学習の進め方は、最下部にあります！！</p>		
高2特進 国公立型 私立理系型	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.85まで 4STEP：問題番号1～186</p> <p>【数学B】 教科書：はじめからp.35まで 4STEP：問題番号1～68</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「2直線の関係」まで</p> <p>【数学B】 「ベクトルの演算」から「ベクトルと平面図形/位置ベクトル」まで</p>
高2特進 私立文系型	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.63まで 4STEP：問題番号1～100</p> <p>【数学B】 教科書：はじめからp.35まで 4STEP：問題番号1～68</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「複素数」まで</p> <p>【数学B】 「ベクトルの演算」から「ベクトルと平面図形/位置ベクトル」まで</p>
高2文理 文系型	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.63まで 4STEP：問題番号1～100</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「複素数」まで</p>
高2文理 理系型	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.85まで 4STEP：問題番号1～186</p> <p>【数学B】 教科書：はじめからp.35まで 4STEP：問題番号1～68</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「2直線の関係」まで</p> <p>【数学B】 「ベクトルの演算」から「ベクトルと平面図形/位置ベクトル」まで</p>
高2普通 数学B履修者	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.79まで 4プロセス：問題番号1～170</p> <p>【数学B】 教科書：はじめからp.34まで 4プロセス：問題番号1～75</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「2直線の関係」まで</p> <p>【数学B】 「ベクトルの演算」から「ベクトルと平面図形/位置ベクトル」まで</p>
高2普通 数学B未履修者	<p>【数学Ⅱ】 教科書：はじめからp.40まで 4プロセス：問題番号1～73</p>	<p>【数学Ⅱ】 「3次式の展開と因数分解」から「複素数」まで</p>

◎学習の進め方 ～ABC学習法～

●問題を解き始めたら、あまり時間をかけずにすぐに解答を見ましょう。きちんと考えてから正しい答えを見る（知る）ことは決して悪いことではありません。

ここでポイントとなるのは『答えだけでなく、解説を読んで、自分の答案と比較すること』です。数学は最後だけ合ってもあまり意味がありません。途中式を見ると模範解答の方が美しいことはよくあります。それを学ぶのが目的です。

そして、最も成長するのは間違えたときです。解説を読んで納得したら、その場ですぐに再現できるカリトライしてください。1年後、ここで差がつかます。それはもう圧倒的です。

●それと同時に、問題に挑んだときは、簡単に解けたら「A」、方針は合っていたけれど間違えたら「B」、解けなければ「C」をそれぞれ付けます。教科書や問題集の問題番号のところに書くといでしょう。

2周目以降は、「A」はやりません。「B」は「A」が付くまでやります。「C」は2回連続で「A」が付くまでやります。1周目ですべての問題に「A」が付く人は絶対にいません。大切なのはテンポよく繰り返す中で「A」を増やしていく嬉しさと楽しさを感じることで

す。●すべての問題に「A」が付いた段階で、その範囲を”仕上げた”と言っていいでしょう。休校明けまでにこれが最大の目標です。

	英語表現		Com英Ⅱ 「Landmark」 「Fit」	シス単	シス熟
	教科書「Vision Quest」	classi			
4/13(月) ～ 4/17(金)	Lesson1 文の種類 p.6-7 Lesson2-1 文型と動詞 p.10-11	「be動詞(現在・過去)」 「文型」 ★「S+V」 ★「S+V+C」 ★「S+V+O」 ★「S+V+O+O」	Lesson1 予習ノート Part1～4	1～1000 確認テスト	1～50 覚える 
4/20(月) ～ 4/24(金)	Lesson2-2 文型と動詞 p.12-13 Lesson3-1 時制 p.20-21	★「S+V+O+C」 「一般動詞(現在)」 「一般動詞(過去)」 ★「進行形」	Lesson2 予習ノート Part1～4	 1001～1100 覚える	 確認テスト 
4/27(月) ～ 5/1(金)	Lesson3-2 時制 p.22-23	「未来の文」 ★「動詞の時制」		 確認テスト	 51～100 覚える 
5/4(月) ～ 5/6(水)	ワーク Lesson1～3				 確認テスト 

<英語表現> 学習手順

- ①見開き右のページの問題を解く
- ②解答を見て採点する
自分のわからなかったところを把握する
- ③見開き左ページの例文と解説を読む

- ④classiを視聴し理解を深める
★・・・特に視聴してほしい講座

※「基礎コース」から「基礎+応用コース」まで見れる講座がたくさんあります。

ここにあげていない講座でも、自分に必要だと思う講座があれば積極的に視聴しましょう。

- ⑤ ①をもう一度解く(ワークをやるのもよい)

<Com英Ⅱ> Lesson1を例にした学習手順

1st day Part1

- ①何も見ず、CDで本文の音声を聴く(聞き取れる単語などをヒントに、どんな内容か推測しよう)
- ②教科書の本文と挿絵を見ながらもう一度CDを聴く(更に推測しよう。①の時より内容が掴めればOK!)
- ③予習ノートを解く。わからない単語は辞書で調べる。
- ④CDを再度聴き、声に出して音読練習をする。

2nd day Part2

上記①～⑤をPart2でも同じように行う。

3rd day Part3

上記①～⑤をPart3でも同じように行う。

4th day Part4

上記①～⑤をPart4でも同じように行う。

<シス単> 100問テストを例にした手順

- ①タイマーをセットし、20分以内で解く(1年生の学習+春休みの復習でどれだけ身に付いたかな?)
- ②時間内に解き終わらなければ引き続き解いても良いが、最終的に何分かかったかは把握しておくこと。
- ③解答を見ながら自己採点(80点なら1000単語中約800語は大体覚えられているということ)
- ④間違った単語、まぐれで正解だった単語は単語帳にマーカー等で印を付け、発音記号を見ながら声に出して発音10回。

(英語の後に日本語の意味も続けて言うと覚えられるよ♪)

※50問テストの場合は10分を目安に解きましょう。

<シス熟> 1～50の範囲を例にした手順

- ①4/18～23の6日間で毎日シス熟を開き、50熟語を覚えていく。(解説(覚え方)のページもよく読み、動詞の持つイメージなどを理解しておく覚えやすい☆)
- ②7日目にテストを受ける。20問テストを5分で解く。
- ③～④は上記シス単テストと同じ。

●物理 (全コース)

分野	教科書	Classi (動画)	Classi 動画番号	トライイット	リードα
平面内の運動	p 6-13	速度	1-2	運動と力 15, 18, 19	基本問題 4,5,6
		速度の合成と分解	1-5		
		相対速度	1-4		
落体の運動	p 14-23	水平投射	2-5	運動と力 10,11,12,13,14,16,17	基本問題 33,36
		斜方投射	2-6		
力のモーメント	p 25-29	質点と剛体	5-2	運動と力 35,36,37,38	基本問題 91,92,95,96
		力のモーメント	5-3		
		偶力	5-4		
重心	p 30-35	重心	6-1	運動と力 39,40	
運動量と力積の関係	p 38-41	運動量	9-1	運動と力 59,60	基本問題 126,128
		運動量と力積	9-2		
衝突	p 42-47	直線上での運動量保存	10-1	運動と力 61,62,63,64	基本問題 129,130,131,134
		平面内での運動量保存則	10-2		
斜め衝突	p 48-54	反発係数	11-1	運動と力 65, 66,67,68	基本問題 135,136,138
		反発係数2	11-2		

★今回の課題の目的

休校で授業ができない分、指定範囲のリードαの問題を解けるようにするための学習を進めてください。おすすめ方法は、Classi→Try IT→リード+教科書(参考書)の順で学習することです。

★学習の流れ

- ① Classi : 基礎～基本レベル
教科書の内容理解として活用。
- ② TRY IT : 基本～標準レベル
教科書の内容理解・問題の解き方理解として活用。教科書の例題レベルの解説有り。リードαの問題の解き方の参考にしましょう。
- ③ リードα : 指定の問題を最低限解けるようになっておきましょう。理想は、他人に解き方を解説できることです。

★教材検索方法

- ①Classi—「学習動画」→「動画」→「キーワードで検索する」→「動画番号で検索」
- ②TRY it!—Youtubeで『トライイット 電磁気 ○○ ←(表のトライイットの番号)』
例: Youtube『トライイット 運動と力 15』で検索
→「ベクトルの分解」を視聴

●化学（全コース）

	単元名	教科書	セミナー演習ページ
化学基礎 基礎コース	酸化還元と酸化数	p156～160	セミナー化学基礎 p92～111
	酸化還元滴定	p161～168	
	金属のイオン化傾向	p170～175	
化学 基礎コース	電池	p106～125 (p112～114 ×) 化学基礎 p174～184	セミナー化学 p55～65
	電気分解		
	物質の三態変化	p6～7, p11 化学基礎 p33～37	セミナー化学 p14 例題 3、 P15 基本問題 13～15、 P17 発展問題 20～21
	ボイル・シャルルの法則	p20～23	セミナー化学 p20、 p22 基本問題 23～25、 p26 発展問題 37

※① 教科書の該当するページも見ながら、動画を見ること。教科書もしっかり読むこと。

※② 見終わったら、セミナー化学の問題を解くこと。基本問題までは必ず解き、発展問題は自由。問題を解くときは必ずノートに書き、間違えた場合は赤ペンで重要な知識、ポイントを書き込むこと。

●生物（全コース）

☆Classi 内の動画+教科書+*配布プリント+セミナー（問題集）を用いて、学習を進めてください。

*「配布プリント」は、Classi を通じて配信します（少し遅くなるかもしれません）。大学入試で合格を勝ち取るために必要な情報を全てまとめたものです。空欄の答えも一緒に配信するので、教科書とともに学習の中心に据えて活用してください。なお、生物基礎でのみ扱う内容（顕微鏡など）も含んでいますので、余裕があれば復習にも使ってください。

※動画の場所…「学習動画」→「単元別学習」→「理科」→「生物」

順番	Classi 動画タイトル	教科書	配布プリント	セミナー
①	生体の化学成分	p6～9	No. 4	p135～151
②	生物体の構造と機能	p16～29	No. 6～8	
③	生体膜と浸透圧	p30～37	No. 10～11	
④	生命現象とタンパク質	P10～15, 38～41, 48～55	No. 5, 12～15	
⑤	酵素の性質と機能, 構造	p42～47	No. 16～18	

(注) 生物の学習で最も大事なものは、学んだ内容を自分で説明できるようにすることです。教科書の太字の用語の意味（定義）を説明する訓練をしておくと、成績はぐんぐん伸びていくでしょう。なお、ここに示した範囲は学校が再開されたとしても授業では一から説明はしない予定なので、そのつもりで取り組んでください。また、より詳しい生物学学習法など、皆さんにお伝えしたいことはClassi を通じて配信していく予定なので、定期的にチェックしてください。

世界史 B

・Classi 動画 地理歴史 世界史

<オリエントと地中海世界、南アジア、東南アジア、アメリカ>

『01 人類の出現～文明の成立 ①～③』

『02 メソポタミア・エジプト ①～②』

『03 セム系3民族～オリエント統一 ①～②』

『04 アケメネス朝ペルシア～ササン朝ペルシア ①～②』

※Classi 上にいつもの授業で使っている「プリント」・「プリントの解答（蛍光ペン入り）」をあげておきます。できれば自宅で印刷をして、動画視聴後にその範囲のプリントを自分で完成させていってください。

日本史 B

・小学館版学習まんが青少年少女日本の歴史

*読んでおくことを推奨する範囲=1.日本の誕生～5.貴族のさかえ

*無料公開期間に読書を推奨、購入しなければならないわけではありません

・Classi 動画 地理歴史 日本史

<弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安時代>

『1-1 稲作の開始と弥生社会』

『1-2 縄文時代の葬法と社会』

『1-3 弥生時代の葬法と社会』

『1-4 古墳の出現（3世紀後半）』

『1-5 前期古墳（3世紀後半～4世紀）』

『1-6 中期古墳（4世紀末～5世紀）』

『1-7 後期古墳（6世紀）』

『1-8 冊封体制』

『1-9 中国への遣使』

『1-10 邪馬台国（3世紀前半）』

『1-11 朝鮮半島への進出』

『1-12 倭の五王』

『1-13 渡来人の組織』

『2-1 6世紀のヤマト政権』

『2-2 氏姓制度』

*これらの動画以外にスタディサプリ等を使用したい場合は、それでも構わない。

現代社会

現代社会では休校期間中、以下の範囲を学習してもらいます。勉強のやり方、プリントなどはClassiにて配信します。詳細は以下の通りです。

- ・ 教科書を読む（経済分野）
範囲：p. 116～119【市場経済のしくみ】
 p. 120～121【国民所得と経済成長】
 p. 126～128【政府の役割と財政】
 p. 130～131【戦後復興と高度経済成長】
 p. 132～133【産業構造の転換と国際経済環境の変化】
- ・ Classi 単元別学習 公民 現代社会

<経済>

- 『市場経済のしくみ』
- 『経済主体と経済活動』
- 『経済成長と景気変動』
- 『財政』
- 『日本経済の発展と産業構造の変化』
- 『1980年代までの日本経済の歩み』

※4/20～の週以降は内容を変更する可能性があります。変更する場合もclassiにて詳細を配信しますので、随時ご確認ください。

高2「情報の科学」課題

1. プレゼンテーション用のテーマ研究

授業でプレゼンテーション実習を行います。以下の①～⑩より1テーマを選択して、テーマの内容を把握し、用語について理解できるように教科書やインターネットを使って事前研究してください。なお、初回授業時に研究内容をレポートにして持参してください。

- ① アナログとデジタル
- ② ネットワークのしくみ
- ③ 知的財産権と著作権
- ④ 情報セキュリティ
- ⑤ インターネットのしくみ
- ⑥ コンピュータのしくみ
- ⑦ データベースとは
- ⑧ 問題解決の方法
- ⑨ 情報社会のモラルとマナー
- ⑩ 情報化の光と影

2. キーボードの入力練習

自宅にキーボードがある人は入力練習をしておくことをお勧めします。インターネットにいろいろな「無料タイピングソフト」があります。ソフトを使って入力練習をしておくことで授業での作業効率がUPします。ゲーム感覚で気軽に取り組んでみましょう！

まずは ⇒Flash タイピング【寿司打】からチャレンジ！

その他、「無料タイピングゲーム」で検索してみよう！！

◇保健体育の教員より 高校2年生へ 4月の課題◇

①SOEI 体操を覚えて、オリジナルダンスを考えよう！

昨年度の体育祭で話題を呼んだSOEI体操。その動きや順番を再度思い出しましょう。

お手本動画を配信しますので、それを見ながら踊れるようにしてください。

また、終盤の「TT体操」「パンケーキ食べたい」「U.S.A」のフリの部分は、新しいものを各自で考えてください。なんでもいいです。リズムに合わせて、みんなでやると楽しいフリを考えてみてください。授業が再開した際には『第1回SOEI体操コンテスト』を開催します。

テストも兼ねて、それぞれが考えてきたものを全員に発表してもらおうと考えています。

毎朝5分、SOEI体操をして身体を動かして、運動不足を解消しましょう。

②環境問題を調べよう！

高2の保健の授業は、3単元 社会生活と健康（教科書 P90）から、さまざまな環境問題と健康について学んでいきます。そのため皆さんは、この期間に環境問題について調べてきてください。

ネット等を上手に使うって、環境問題の最新の正しい情報を収集し、まとめてみましょう。

まとめ方や内容は以下の通りです。

■調べる環境問題■（以下の8つの中から1つを選択すること）

大気汚染・酸性雨・オゾン層の破壊・地球温暖化

水質汚濁・土壌汚染・一般ごみの問題・産業廃棄物の問題

■調べる内容■

1. 概要（どんな問題なのか？）
2. 原因（何が環境を汚染しているのか？）
3. 健康被害（私たちにどんな被害を及ぼすのか？）
4. 被害状況（これまでに具体的にどんな被害があったのか？ 事件性など）
5. 対策（防ぐためにどんな対策がされているのか？ 対策ができるのか？）
6. 私達にできること（普段の生活のなかで私達にできることは何か？）
7. その他（みんなに伝えたいこと・知っておいてほしいこと）

■まとめ方■

A4用紙2~3枚程度でまとめること

*休校明け後の最初の授業の際に、提出すること。

授業が始まったら、テーマごとのグループをつくり、それぞれが調べてきたことをまとめてもらい、最終的にグループごとでプレゼンテーションをしてもらいます。

③気分転換に身体を動かそう！

外出できず、自宅にいて動ける範囲は限られているかもしれませんが、体操以外にも可能な限り1日1回、体を動かしましょう。勉強の合間に、少し空いた時間に、身体のリフレッシュも兼ねて、ストレッチ等で体を伸ばそう。今後、参考にいくつかの動画やサイトURLを配信していきますので、チェックしてみてください。

運動部に所属している人は、ぜひストレッチに加えて、軽いジョギングや筋力トレーニングにも挑戦してみよう！！